



「サステン」SDGs 未来へ続くかけ橋

第12話 大量の服はどこへ行く？



12 つくる責任  
つかう責任



つくる責任、つかう責任

人々は生活をより豊かにするために、経済を優先して大量に物を作り、多くの人々に行き渡るようにして来ました。しかし、必要以上に物を作りすぎてしまったため、大量廃棄が行われるようになり地球環境に大きな影響を与えているのです。

SDGsクイズ 01

答え 1

物語に登場したエリアに連れられて行った場所には、大量の服の山がありました。これは何と呼ばれていたでしょうか？

- ① 洋服の墓場
- ② 洋服のお店
- ③ 洋服の神様が住む場所

SDGsクイズ 02

答え 3

エリアたちが作っている「作る時も使う時も、捨てる時も、地球に優しい服」のことを何と言っていたでしょうか？



- ① アースカラーファッション
- ② ディスポーザーファッション
- ③ サステナブルファッション

SDGsクイズ 03

答え 1

衣服などの大量生産、大量廃棄によって様々な問題がおきています。それは次のうちどれでしょうか？



- ① 気候変動による異常気象、環境破壊など
- ② 軌道変動により四季がおかしくなる
- ③ 通貨変動によって貧富の差が大きくなる

## SDGsクイズ 04

答え 2

洋服の素材になっているポリエステル・ナイロン・ポリウレタンは石油からできています。このような素材で作られた服を燃やしたり埋めたりすることでどんなことが起きるでしょう？

- ① 問題なく衣服を一気に減らせる
- ② 環境破壊に繋がる
- ③ 新たな石油を生み出すことができる

## SDGsクイズ 05

答え 3

物語の中では衣類以外にも大量に捨てられているものがあると言われていました。先進国を中心に毎年13億トンも捨てられているものは次の内どれでしょうか？

- ① 乗り物
- ② 工芸品
- ③ 食料

## SDGsクイズ 06

答え 3

地球環境に配慮する経済のしくみの一つとして、サーキュラーエコノミーがあげられます。次のうち、それに当てはまらないものはどれでしょうか？



- ① 自然由来でできた商品をつくる
- ② 不用品は捨てずに再利用する
- ③ 廃棄物を他の国に輸出して処理する

「つくる責任、つかう責任」について、地球の環境や資源を守るためにできることを、思いつく限り書いてみよう！また、あなたができそうなことも書いてみよう！

地球に悪い影響を与える化学物質の使用を少なくし、製品を長く使えるように

修理や再利用し、地球資源を節約すること。自分ができること:ゴミを出さない

ように必要以上に物を買わない



## ココとシラバスのヒント！

ものを買う時や使う時に、どういふものを買、どういふうに使い、なぜ物を捨ててしまっているのかを考えてみると良いよ！



SDGs が学べる教育アニメ  
「サステン」公式サイト

<https://linkwith-sdgs.com/sustainable-change/>

サステン  
公式  
Youtube



つながる、ひろがるSDGs  
Link with SDGs